

総務省「テレワークを活用した地域課題解決事例の創出に 関する実証事業」成果報告

実証名：中山間地域における地域共創テレワーク実証プロジェクト
代表機関：株式会社パソナJOB HUB

中山間地域における地域共創テレワーク実証プロジェクト

プロジェクトコンセプト

山口県環境/文化/人の魅力・特性を活かした テレワーク推進による地域課題解決の実現とモデル構築

目的

山口県が抱える複数分野にまたがる政策課題について、テレワークを活用し、横断的に解決するモデルを構築するための実証事業を実施。

山口県の特성에応じて、都市圏の企業から仕事を受注できる仕組みや地域のデジタル人材の育成手法等を検証し、モデル化することで、地方部におけるテレワークの普及・定着を促進。

地域企業・ベンチャー企業



・DX人材の活用



山口県内
テレワーク人財

パソナ山口・YMZOP
を中心にサポート

中山間地域における
地域共創テレワーク
コンソーシアム



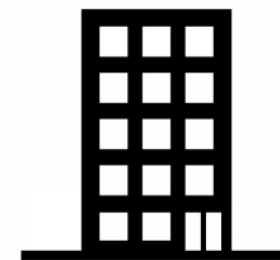
地域プロジェクトの協働
・DX人材の育成
・事業開発 等

政策課題

萩市：人口減少、古民家保存、雇用創出、二次交通
下関市：人口減少、廃校活用、雇用創出、二次交通、
滞在環境整備

コンソーシアムにて一気通貫で支援

都市部企業



・人材育成・定着
・事業開発



都市部
テレワーク人財

パソナJOB HUBを中心に
サポート

(1) 実証プロジェクトの実施（都市部企業側）

①都市部企業との
プロジェクト企画

②地域企業・住民テレワーカー
向けセミナーの企画・運営

③実証プロジェクト
(期間中に2～3回程度)

④効果検証・サテライト
オフィス進出検討

(2) 実証プロジェクトの実施（地域側）

①地域側での
受け入れ体制整備

③実証プロジェクト受入準備

⑤実証プロジェクトの受け入れ
(期間中に2～3回程度)

⑥効果検証・継続的な
プロジェクト共創

②地域企業・住民テレワーカー
の発掘

④地域企業・住民テレワーカー
向けセミナー受講

(3) 都市部企業経営層向けセミナー・ワーケーションツアーの実施

①セミナー
企画

②セミナー
実施

④ワーケーション
実施

⑤セミナー
企画

⑥セミナー
実施

⑧ワーケーション
実施

⑨プロジェクト伴走支援

③ワーケーション企画

⑦ワーケーション企画

(4) コンソーシアムの組成と体制

①コンソーシアム
立ち上げ

②都市部企業・地域側の
プロジェクト共創企画・運営伴走

③コンソーシアム協議会の実施
(期間中に2～3回程度)

④中長期的なモデル構築支援

⑤情報発信・普及啓発

地域共創プロジェクトの継続化
及び地域テレワークモデルの自走化
を実現

コンソーシアム構成員及び連携機関と本事業における役割

■コンソーシアム構成員（実証地域関係者）

組織名	役割
萩市	・政策課題オーナー ・地域企業や団体、住民との連携
下関市	
公立大学法人下関市立大学	・実証プロジェクトの実施またはワーケーション時の都市部企業との交流
山口県立下関北高等学校	
株式会社鴨川グランドホテルホテル西長門リゾート	・下関市豊北地域でのワーケーション時の滞在場所提供

■コンソーシアム構成員（プロジェクト推進）

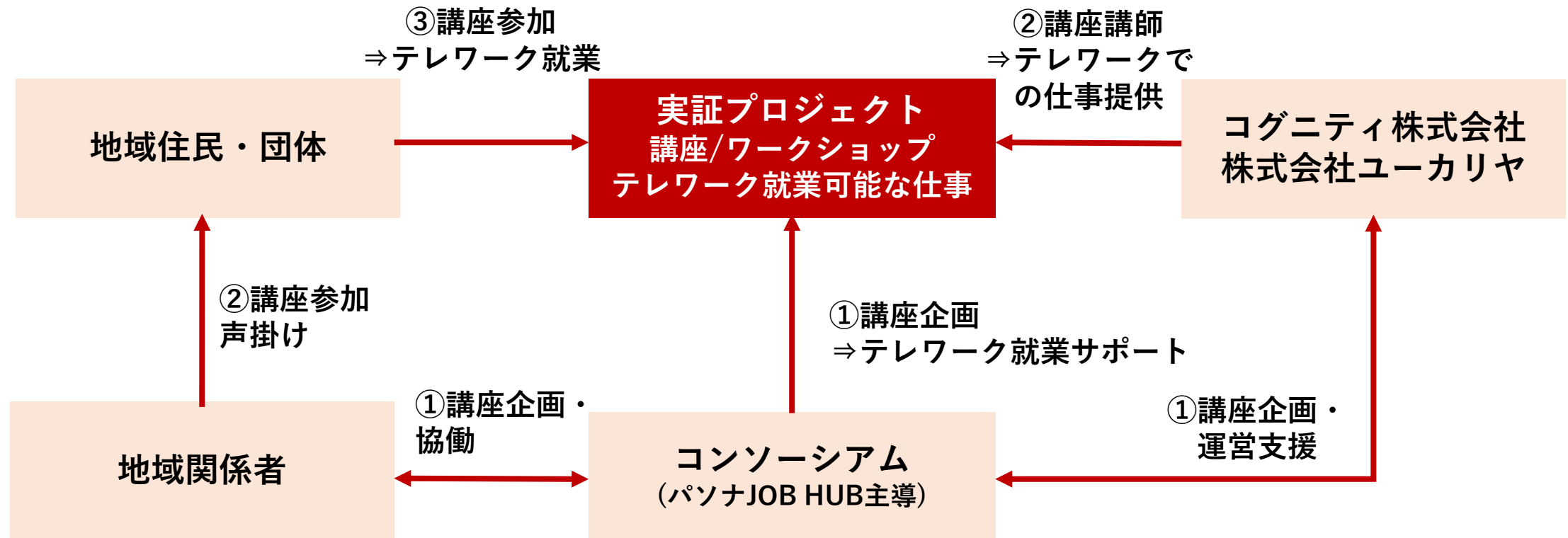
組織名	役割
株式会社パソナJOB HUB（代表機関）	・全体統括/進捗管理 等
株式会社パソナ パソナ・山口	・住民テレワーカーの発掘支援の集客連携支援 等
株式会社YMFG ZONE プランニング	・住民テレワーカーの発掘支援・ワーケーション参加企業への集客連携支援 等

■連携機関（実証プロジェクト実施企業）

組織名	役割
コグニティ株式会社	・萩市での地域共創テレワーク実証プロジェクトの実施
株式会社ユーカリヤ	・下関市豊北地域での地域共創テレワーク実証プロジェクトの実施
西日本旅客鉄道株式会社	・萩市/下関市ワーケーションツアーの企画・旅行手配業務

地域における実証プロジェクトの位置づけ

萩市・下関市豊北地域での**テレワーク就業の事例創出**に取り組みながら、それぞれの地域活動においてコグニティ/ユーカリヤとの連携方法を模索し、実施。



萩市×コグニティ株式会社による実証プロジェクトについて

■萩市での実証プロジェクトについて

【政策課題】 人口減少、雇用創出、古民家保存、二次交通

【萩市の取組】

- ・若者の働く場の創出と確保
- ・移住を促進する住まいの確保と提供
- ・出生・子育て・教育環境の充実

【実証概要】 古民家等を実証期間中の活動場所として活用し、テレワークの実施、地域企業・住民テレワーカー向けのセミナーやIT講座、仕事の発注・業務管理を実施。

【ターゲット】 萩市在住でテレワークに興味のある方。特に、子育て、療養、介護など、さまざまな理由で働く選択肢が狭まっている方、働く手段を増やしたい方を対象。

【集客方法】

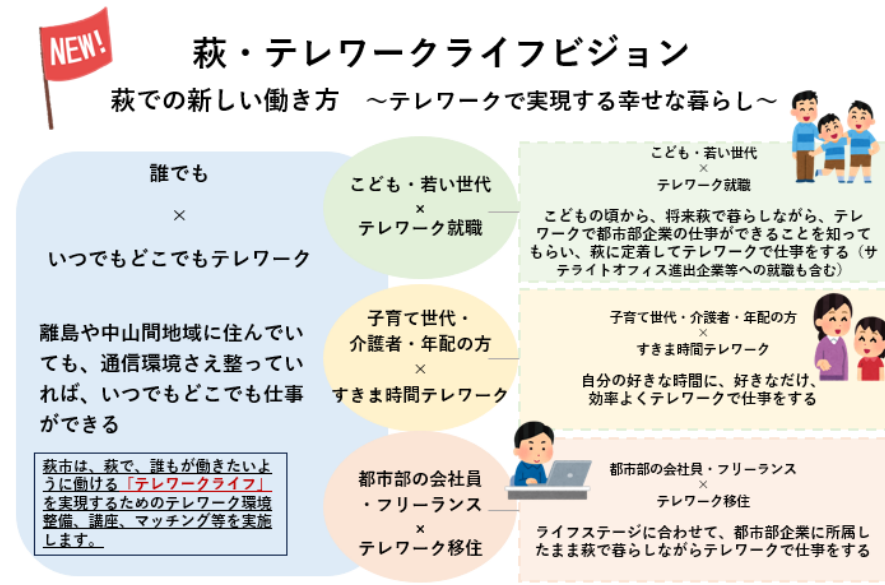
萩市の広報誌、地元メディア(エフエム萩、NHK、はあぶビジョン)、SNS(Facebook、X)、チラシ送付(ハローワーク、萩市内図書館、市民講座センター、スーパー2カ所)、YMFG ZONEプランニングや山口銀行の個人顧客、防災無線等

■コグニティ株式会社について

【事業概要】 「認知バイアスを取り除く」ためのソフトウェアを開発し、20,000本を超える解析結果データベースを使って、接客・プレゼンテーション・会議等の好成績者・チームの傾向をモデル化し、定量的に比較評価する解析サービス「COGシリーズ」を提供。2013年の創業時より地方創生テレワークを推進しており、AIアノテーション業務(AIに学習させたいデータに意味付けを行う作業)を行うリモートワーカーの採用を行っている。拠点は本社の東京のほか、徳島県・福岡県・秋田県にサテライトオフィスを設置。

■萩・テレワークライフビジョン

誰もがテレワークという働き方の選択肢をもてるべく、テレワーク環境整備、講座、マッチング等を実施し萩での幸せな暮らしを実現する。



萩市×コグニティ株式会社による実証プロジェクトについて

■実施結果

内容	実施回数	参加人数	実施場所
テレワーク導入セミナー	2回	17名	萩・明倫学舎
IT基礎講座初級編	5回	26名	萩・明倫学舎 萩幼稚園
IT基礎講座中級編	12回	64名	
合計	19回	107名※重複含む	—
応募数/採用数	9名/5名		—

・総務省、萩市、コグニティ、パソナJOB HUBにて企業・自治体向け「合同セミナー」も開催

<IT講座参加者の声>

<萩市の実証担当者の声>

- ・将来介護が必要になった時に備えて参加できてイメージが湧いた。
- ・興味はあったが、スキルや働き場所など不安だったが、市が開催しているという安心感と実際のお話を聞いて働いてみたい。
- ・PCのスキルアップやテレワークの働き方を理解できた。

今回は主婦層や若い女性を対象に行っていたが、テレワークライフビジョンの実現に伴い、幅広い世代、分野の方へのターゲット毎へのアプローチが必要である。加えて今回参加された住民テレワーカーの方で地域のリーダー核となる人材の発掘・育成がすることができればより一層サテライトオフィス誘致にも繋がる。



テレワーク導入セミナーの様子

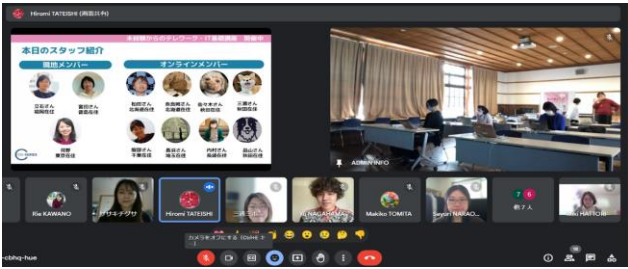


IT基礎講座のチラシ

■全体所感

体験型の講座に参加することで、どの程度のスキルがあれば働けるのかという疑問や、漠然としたPC操作に対する不安感は解消され、「できるかも」と気持ちに変化を促すことには成功したが、参加者からの応募率が他地域と比較して少ない傾向があり、「できる」から「挑戦した」「働きたい」とスムーズにはいかず、気持ちと行動の間には大きなギャップがあることが課題だと感じ、働く上での行動化を促すアプローチが今後は必要である。

「萩・テレワークライフビジョン」の実現に向け開催されたシンポジウムを通して、萩幼稚園と繋がり、場所を借りての講座開催が実現し、参加人数は少なかったものの、園の今後の展望としてサテライトオフィスの建設を検討しており、子供たちの教育×保護者の就業機会の提供×テレワークという、新たな働き方の仕組みを作る足がかりとなった。



ハイブリッド開催の様子

■下関市での実証プロジェクトについて

【政策課題】人口減少、遊休施設・空き家活用、雇用創出、二次交通、滞在環境整備

【実証概要】豊北歴史民俗資料館(太翔館)等を活用し、地域企業・住民テレワーカー向けのセミナーやRe:Earthテレワークプロジェクト(業務発注)を通して参加者のテレワーク就業に向けた人材育成及び興味関心に沿ったテーマを表現し、成果発表会にて有識者へフィードバックを通じた更なるブラッシュアップを行うとともに豊北地域のテレワークコミュニティを創出。

【ターゲット】下関市在住でテレワークに興味のある方。さまざまな理由で働く選択肢が狭まっている方、働く手段を増やしたい方を対象。

【集客方法】下関市公式SNS (Facebook、X、公式LINE)、メディアアプローチ(日経新聞、毎日新聞、NHK)、チラシ送付(豊北地域の学校)等

【連携先】

- ・下関市立大学：テレワーク人材育成や地域の愛着醸成の創出に向けた専門的な知見、アドバイザー。
- ・下関北高等学校：地域探求学習内でのRe:Earth活用プロジェクトの実施。

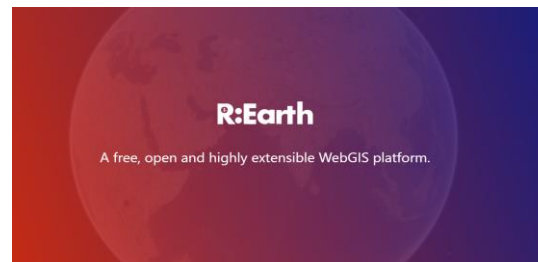
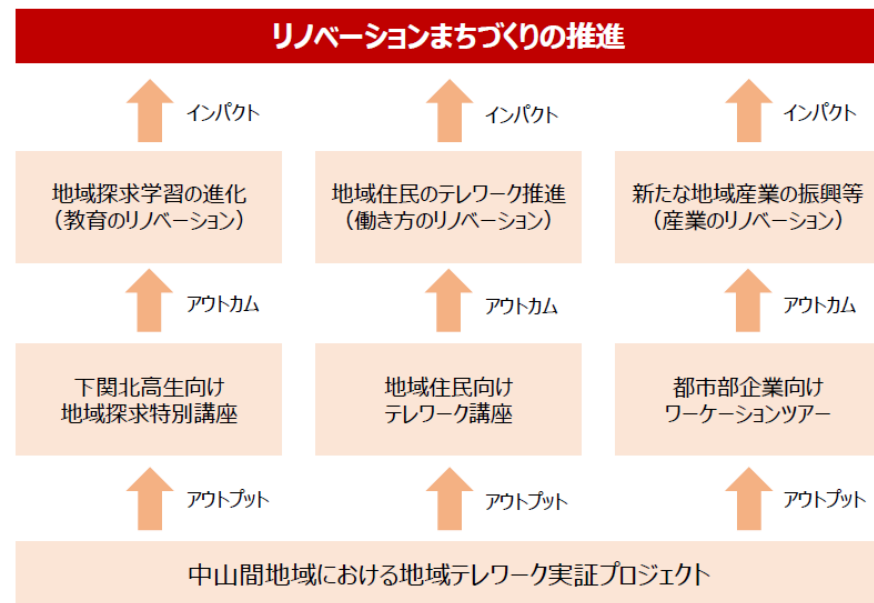
■株式会社ユーカリヤについて

【事業概要】Re:Earthはデジタルアーカイブと知的活動支援を目的としたノーコードGISで、オープンソースで自由に使い、プラグインで新しい価値を提供する注目のサービスです。技術的な知識がなくても使用可能で、地方自治体などからの受注により、テレワークでの中長期的なビジネス支援が可能。国内外の難民やシングルマザーの方向けのデジタル人材育成の実績もあり。国土交通省が主導する3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」にも採択。

■下関市リノベーションまちづくり

今ある資産(遊休不動産などの空間資源にとどまらず人的資源や歴史的資源も含む)を活用して自治体の都市・地域経営課題を解決するべく、資源を余すことなく活用し、低コスト・低リスク・スピーディーに事業を生み出す取組み。

<本事業との関連性>



下関市×株式会社ユーカリヤによる実証プロジェクトについて

■実施結果

内容	実施回数	参加人数	実施場所
テレワーク導入セミナー	1回	26名	下関市豊北総合支所
ワークショップ	3回	10名	太翔館(豊北歴史民俗資料館)
成果報告会	1回	9名	下関市豊北総合支所
合計	5回	36名※重複含む	—
採用数		10名	—



ワークショップの様子

<ワークショップ参加者の声>

- ・今回のプログラムを通して通勤時間に2時間使うよりはその2時間働く、家族と過ごすなど違うことに使うことができると感じた。
- ・テレワークができると仕事の選択肢が増えるなども感じますし、その選択肢を提供できる環境をつくってきたい。
- ・Re:Earth から直接稼ぐ以外にも、Re:Earth から新たなビジネスが生まれることもテレワークだと思った。

<下関市の実証担当者の声>

今回のプログラムをきっかけに豊北地域の方の顔や課題なども見えてきつつあるとともに、出会えたテレワーク仲間やコミュニティの形成、それに一歩踏み出すきっかけを与え伴走したプロジェクトメンバーがー帯となりモデルができたので、行政としてもリノベーションまちづくりの推進やその他でも更なる連携を進めていきたい。



ワークショップのチラシ

■全体所感

- ・参加促進とコミュニケーションの強化:イベントの告知方法を見直し、参加のハードルを下げる工夫するとともに、参加者間の相互作用を促進するためのプラットフォームやイベントをさらに充実させる必要がある。
- ・成果物の利用と公開の促進:成果物を地域社会や関心を持つグループに広く公開し、利用を促進する。実用化に向けたサポートやパートナーシップの構築にも力を入れる。
- ・フィードバックの収集と反映:参加者や関係者からのフィードバックを定期的に収集し、プロジェクトの改善に活用するシステムや体制を確立する。
- ・行政と連携したテレワーカーの雇用創出及び就業レベルまでの人材育成が必要である。



ワークショップ開催の様子

都市部企業向けセミナー/ワーケーションツアーについて

<ワーケーションツアーにおける実施プロセス>

取組
全体像

地域の魅力や
企業発掘

地域特性に
合わせた
プログラム企画
設計

企業向け
集客
(セミナー、個
別集客等)

プログラム
運営・コーディネート

フォローアップ、
自治体や地域企
業との
連携等

企業向け
セミナー

- ・目的：将来的な実証プロジェクト実施及びサテライトオフィス拠点設置を検討する企業や都市部のイノベーターの集客及び周知し、ワーケーションツアーに繋げる。
- ・日時：第1回：10月10日（火）12:00～13:30（ZOOM）、第2回：11月 7日（火）12:00～13:30（ZOOM）
- ・参加者数：第1回：51名、第2回：96名、合計147名
- ・参加対象：都市部企業、経営者、人事責任者※地方での人材確保や育成に関心のある経営者や、地域でのサテライトオフィス展開を検討している経営者

ワーケー
ション
ツアー

- ・目的：萩市・下関市（豊北地域）の下関・萩で活躍するキーパーソンとの意見交換、文化体験、住民との交流、テレワーク体験によって、地域の魅力を存分に感じ、その後の関わり方をアウトプット・提案する。ワーケーション後は実証プロジェクトに向けた参画やサテライトオフィス拠点設置に向けたフォローアップを実施。
- ・日時：第1回：11/16(木)～11/18(土)「テレワーク採用・人材育成」
第2回：12/7 (木)～12/9 (土)「地域での事業開発」
- ・参加者数：1回目：8社9名、2回目：9社11名、合計17社20名



<企業向けセミナーのバナー>



<パネルディスカッションの様子>



地元企業との意見交換



太翔館でのリモートワーク



遊休施設の視察



振り返りワークショップ

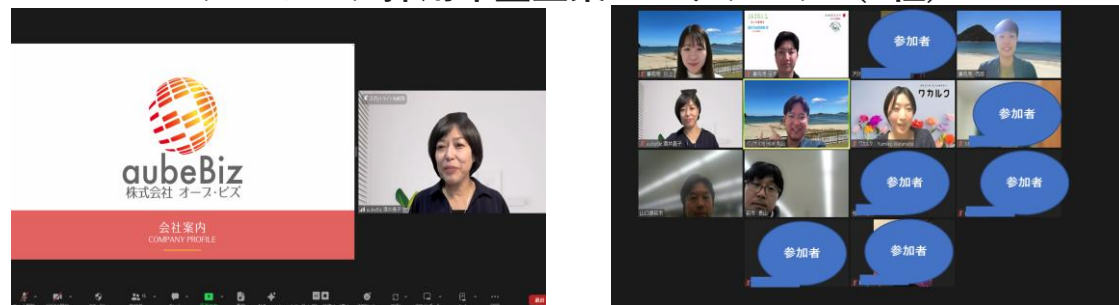
ワーケーションツアー参加企業一覧

	参加企業情報	参加の目的	ツアー参加後の関わり方
第1回	1 古民家・空き家活用関連事業	・遊休資産活用の知見	・空き家活用などの事業 ・空き家活用ノウハウ提供
	2 人材育成・越境学習等の教育研修事業	・人材育成の場	・人材育成、組織の実証フィールドとして活用 ・自治体との共同サービス検討
	3 リモート人材育成支援、BPO事業	・テレワーク人材採用、雇用	・テレワーク人材の採用 ・自治体と連携した地域企業のリモートワーク導入、促進支援
	4 協会運営・コミュニティ運営事業	・コミュニティづくり	・地域コミュニティ形成支援 ・まちづくりに関わる市担当者へノウハウ提供
	5 Saas系リーガルテック事業	・テレワーク人材採用、雇用	・人材確保 ・サテライトオフィス設置 ・チームビルディングやテレワーク実施場所としての検討
	6 宿泊施設・流通・地方創生事業	・地域課題プロジェクトの実証実験の更なる知見 やネットワーク構築	・地域のローカルパートナーとの繋がり ・ノウハウ提供
	7 人事コンサルティング、事業企画支援事業	・移住・定住支援策の視察及び連携	・地域と連携した事業開発
	8 WEB開発・広告代理店事業	・IT企業誘致の実例の視察及び新規支社の検討	・サテライトオフィス進出に向けた検討
第2回	9 WEB制作・移住促進関連事業	・プロモーション、ブランディングに関する知見	・テレワーク人材の採用 ・まちづくりに関わる市担当者へノウハウ提供
	10 Saas系テック事業	・テレワーク人材採用、雇用	・テレワーク人材の採用 ・自治体と連携した地域企業のリモートワーク導入
	11 フレグランス製品の販売、プロデュース事業	・地域の風土や伝統と融合した事業開発	・地域と連携した事業開発
	12 サステナビリティ・サーキュラーエコノミー・教育に関するメディア事業	・メディアとしての視点、知見	・メディア視点から地域の魅力やポテンシャルの発見 ・記事制作
	13 民泊・観光&民泊プロデュース事業	・地域商社の立ち上げに関する知見	・空き家の活用 ・地域と共創した事業開発
	14 別荘サブスク事業	・地域での事業展開の知見	・地域のローカルパートナーとの繋がり ・ノウハウ提供
	15 食・農に関わるブランディング事業	・地域課題をブランドに昇華する知見	・特産品のブランディング、商品開発
	16 障がい者向け福祉機器の企画・開発・設計・販売事業	・テレワーク人材採用、雇用	・テレワーク人材の採用 ・サテライトオフィス設立
	17 クラウド業務基盤システム開発事業	・テレワーク人材採用、雇用	・テレワーク人材の採用 ・サテライトオフィス設立

ワーケーションツアー参加企業のプロジェクト共創

総プロジェクト数：11社

① 萩市：テレワークを希望する住民と
テレワーク採用希望企業のマッチング（3社）

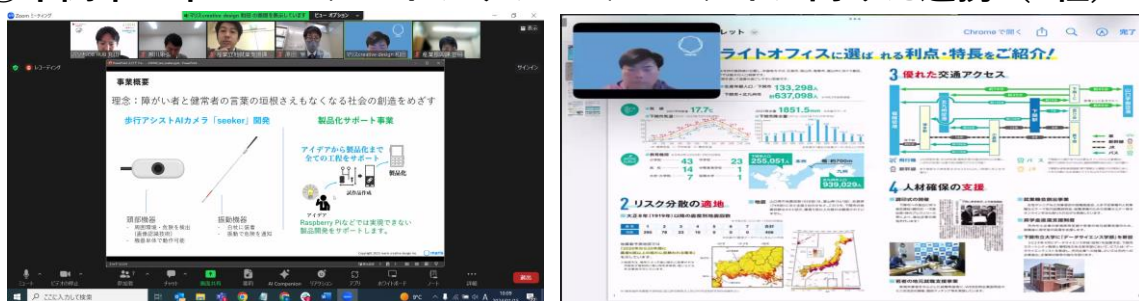


萩市が行うテレワークマッチングプロジェクトに参画、採用を実現

② 萩市：漁業及び海産物加工製造業を営む地元企業と海洋問題、漁業
問題の解決を目指す都市部企業との連携プロジェクト始動

③ 萩市：萩IT松下村塾の学生向けワークショップにおける講師登壇

④ 下関市：市とのスタートアップコミュニティに向けた連携（2社）



アクセラレータープログラムや都市部企業のネットワーク構築支援

⑤ 下関市：宿事業プロジェクト始動(2社)



地域企業の空き家調査及びゲストハウス事業の
立ち上げにおけるアドバイザー支援を実施

⑥ 下関市：豊北地域のバラ農家×ブランディングプロジェクト始動

⑦ 下関市：テレワーク人材育成プログラム実施

2/2-3
セミナー
開催



2日間で57名が参加、その後のテレワークプログラムには64名が参加

■定量目標

項目	目標	実績	詳細
地域企業・住民テレワーカー・教育機関等向けセミナー参加者数	50名以上	203名 ※重複含む	萩市・下関市（豊北地域）での、実証プロジェクトの中で実施する地域企業・住民テレワーカー・教育機関等向けDXセミナーの参加者合計数。 萩市： 107名 、下関市：36名+aubeBizセミナー57名
地域共創テレワーク実証プロジェクト数	2件以上	13件	実証プロジェクト（コグニティ株式会社・株式会社ユーカリヤ）に加えて、ワーケーション参加企業より下関市では6社、萩市では5社のプロジェクトを創出。
地域企業・住民テレワーカー参画数	5名程度	18名	実証期間中にテレワークでの業務に従事する住民テレワーカー等の人数 萩市：4名(直接雇用)※追加で3名見込み、下関市：10名(業務委託)
実証期間中の収入想定額	1,000,000 円 程度	1,840,000円程度	・株式会社ユーカリヤから住民テレワーカーへの報酬：400,000円 ・コグニティ株式会社から住民テレワーカーへの報酬：1,260,000円 (月10日×試用期間3カ月×5時間×8名×時給1,200円)
ワーケーション参加企業数	10社以上	17社	萩市・下関市（豊北地域）で実施する都市部企業経営層向けワーケーションに参加する企業数

■実証を通じて得られた成果や課題

成果	課題と対策
地域住民のテレワーク普及促進と就業率の向上	テレワーク環境、インフラの整備やデジタルスキル習得に向けた人材育成及び就業機会や雇用創出を市や民間企業と連携して行っていく必要がある。
地域企業・事業者のテレワーク普及促進	テレワーク就業における多様な働き方推進支援や地域及び会社の組織文化の意識変革を行っていく必要がある。
地域共創テレワーク実証プロジェクトでの創出・成果	継続的なプロジェクト実装に向けた資金調達計画及び地域で伴走や自走できる中間支援団体の立ち上げや支援。

次年度以降の取組の構想/計画等

■萩市

取組内容	詳細
①更なる萩テレワークライフビジョンの推進	・テレワーク講座参加者の更なる育成、採用支援。 ・離島や他地域、萩市出身者等に向け認知拡大。
②県外企業及び住民テレワーカーの受入環境整備	・県外企業のサテライトオフィス設置や住民テレワーカーのテレワーク実施における際のハード面の整備(萩幼稚園の整備など)。 ・都市と地域企業を繋ぐコーディネーターの発掘・育成。
③萩市内企業と都市部企業のネットワーク構築	企業の事業進出・サテライトオフィス設置等の実現に向け、萩市との接点を持った後継続的に関わっていただくための施策（コミュニティ）検討。

■下関市(豊北地域)

取組内容	詳細
①住民主導によるテレワークプロジェクト	今回プログラムに参加した住民テレワーカーにてRe:Earthを活用したビジネスモデルの構築及び雇用創出に向けたプロジェクト実施。 (働き方のリノベーション)
②新たな産業の発掘・創出	事業開発ワーケーション、ローカルスタートアップコミュニティ等と連携しながら、都市部企業を誘致した継続的な事業共創を行うとともに豊北地域での新産業を創出する。 (産業のリノベーション)
③下関北高等学校の地域探求学習の深化	下関北高等学校が市や地域住民、民間企業と連携し、地域探求学習を通じた教育DX,地域資産の形成、キャリア教育を実現。 (教育のリノベーション)